

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果（第6回）

第6回のテーマは

「歯と口腔の健康に関するアンケート」でした。

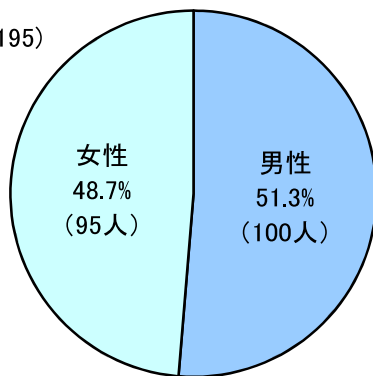
登録者数：247人

実施期間：平成26年6月4日（火）～6月13日（金）

回答者数（回答率）：195人（78.9%）

性別

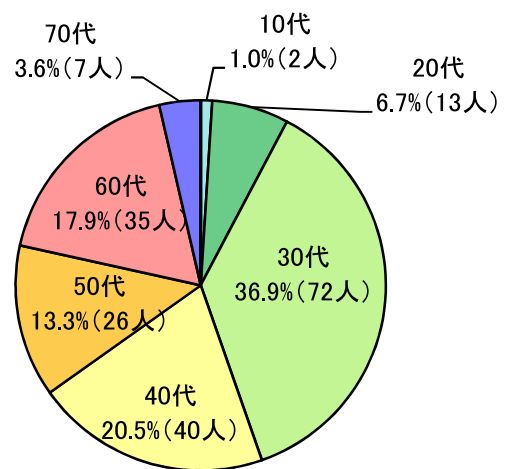
(n=195)



性別	N	%
男性	100	51.3
女性	95	48.7
全体	195	100.0

年代

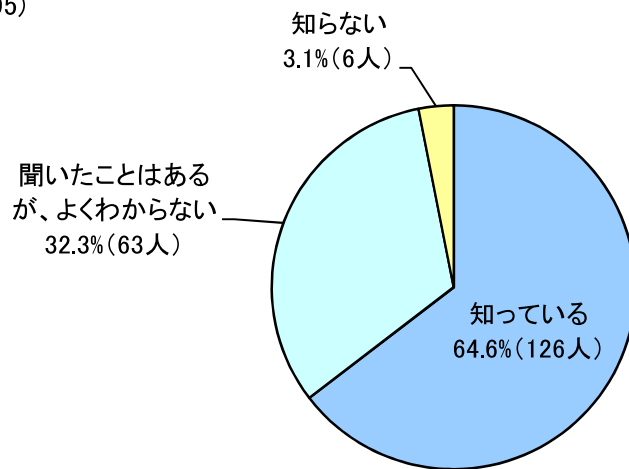
(n=195)



年代	N	%
10代	2	1.0
20代	13	6.7
30代	72	36.9
40代	40	20.5
50代	26	13.3
60代	35	17.9
70代	7	3.6
全体	195	100.0

[Q1]あなたは、歯の健康が全身の健康・生活習慣病に関係することを知っていますか(単一選択)

(n=195)



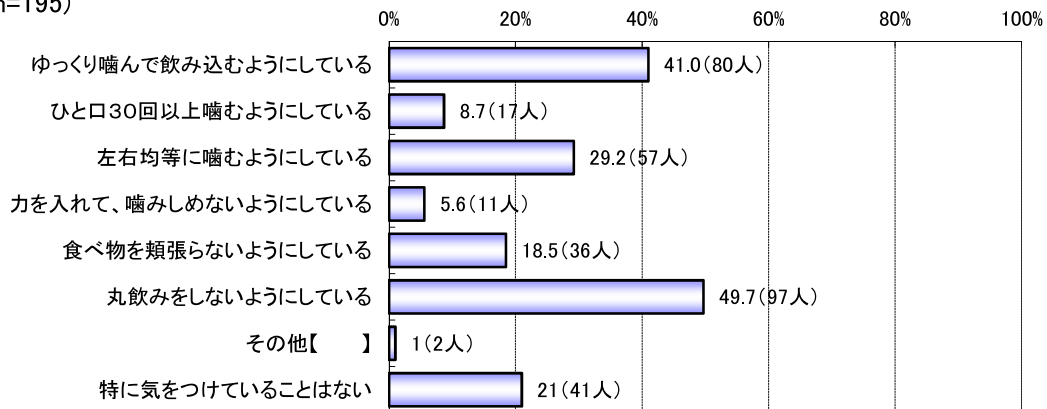
あなたは、歯の健康が全身の健康・生活習慣病に関係することを知っていますか(単一選択)	N	%
知っている	126	64.6
聞いたことはあるが、よくわからない	63	32.3
知らない	6	3.1
全体	195	100.0

歯の健康と全身の健康・生活習慣病との関連について、64.6%が認識していました。特に歯周病は代表的な生活習慣病で、心疾患・脳血管疾患・糖尿病などと深い関係があります。また、低体重児早産、誤嚥性肺炎などのリスクが高まることなど、歯と口腔の疾患と全身の健康との関係は、年齢を問わず良好に保つことが重要です。

“聞いたことはあるが、よくわからない”、“知らない”との回答が35.4%であり、「お口の健康は全身の健康の源」であることをより周知していく必要があります。

[Q2]あなたは、噛んで食べる時、気をつけていることはありますか(複数選択)

(n=195)



あなたは、噛んで食べる時、気をつけていることはありますか(複数選択)	N	%
ゆっくり噛んで飲み込むようにしている	80	41.0
ひと口30回以上噛むようにしている	17	8.7
左右均等に噛むようにしている	57	29.2
力を入れて、噛みしめないようにしている	11	5.6
食べ物を頬張らないようにしている	36	18.5
丸飲みをしないようにしている	97	49.7
その他	2	1.0
特に気をつけていることはない	41	21.0
全体	195	100.0

「その他」として寄せられた意見は次のとおりです（2件）

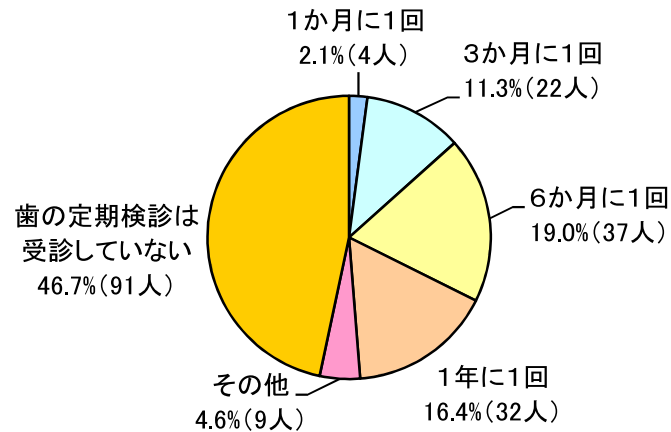
- ・よく噛まないといけないことを知りながら、食べるのが速くなってしまふ癖が抜けない
- ・固いものも食べる

“丸飲みをしないようにしている” 49.7%、“ゆっくり噛んで飲み込むようにしている” 41.0%と、早食いをしないように気を付けている回答が上位にみられました。

厚生労働省は、食事の際に1口30回以上噛むことを目標とする「噛ミング30（かみんぐさんまる）」運動を提唱しています。しかし、“ひと口30回以上噛むようにしている”割合は8.7%と低く、小児から高齢者まで、健康を維持するには良く噛んで食べるのが重要だということの認識不足がみられます。

[Q3]歯の定期検診は、どのくらいの間隔で受診していますか(単一選択)

(n=195)



歯の定期検診は、どのくらいの間隔で受診していますか (単一選択)	N	%
1か月に1回	4	2.1
3か月に1回	22	11.3
6か月に1回	37	19.0
1年に1回	32	16.4
その他	9	4.6
歯の定期検診は受診していない	91	46.7
全体	195	100.0

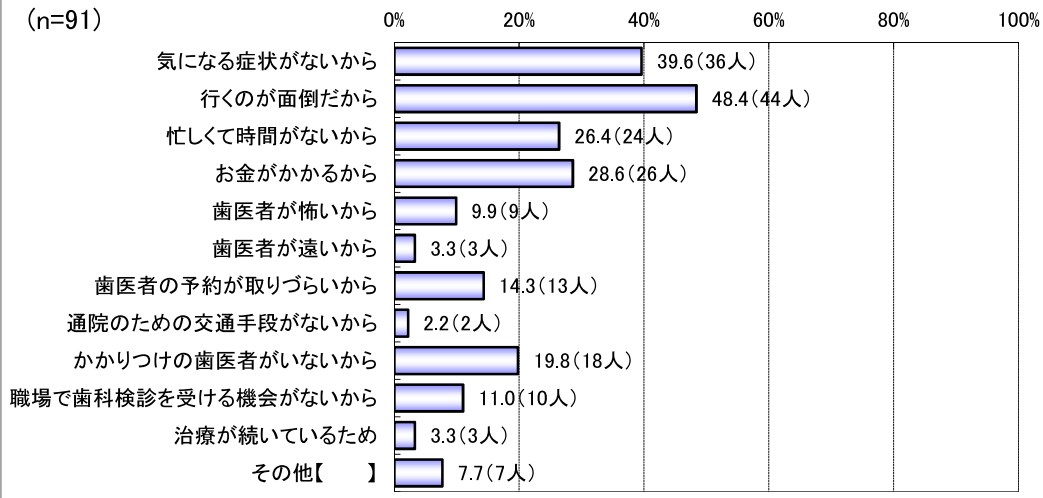
「その他」として寄せられた意見は次のとおりです (9 件)

- ・ 4年に一度
- ・ 数年に1回
- ・ 2ヶ月に1回
- ・ 最近は行っていない
- ・ 2.3年に一度
- ・ 4か月に1回
- ・ 歯の具合が悪い時にしか行かない
- ・ 思いついたら
- ・ 出産前は定期的に行っていましたが、産後は全く行けていません

1年に1回以上定期検診を受けている割合は約半数の48.8%ですが、一方で46.7%が”歯の定期検診は受診していない”と回答しました。定期検診の受診頻度、必要性の認識は個人により差があります。

[Q4]歯の定期検診を受診しない理由は何ですか(複数選択)

(n=91)



歯の定期検診を受診しない理由は何ですか(複数選択)	N	%
気になる症状がないから	36	39.6
行くのが面倒だから	44	48.4
忙しくて時間がないから	24	26.4
お金がかかるから	26	28.6
歯医者が怖いから	9	9.9
歯医者が遠いから	3	3.3
歯医者の予約が取りづらいから	13	14.3
通院のための交通手段がないから	2	2.2
かかりつけの歯医者がいないから	18	19.8
職場で歯科検診を受ける機会がないから	10	11.0
治療が続いているため	3	3.3
その他	7	7.7
全体	91	100.0

「その他」として寄せられた意見は次のとおりです（7件）

- ・ 診察時間が短く仕事が終わってからでは間に合わない
- ・ ちょっと覗いて、また来て下さいが多すぎる
- ・ 時すでに遅しのため。歯が半分以上無く、インプラントにしようかと迷っている。
- ・ 子供が小さいため
- ・ 子供が小さいため
- ・ 三歳の子どもがいて、預けることも難しく、一緒に行かれない為。
- ・ 2年に1回ぐらい治療の機会があるので

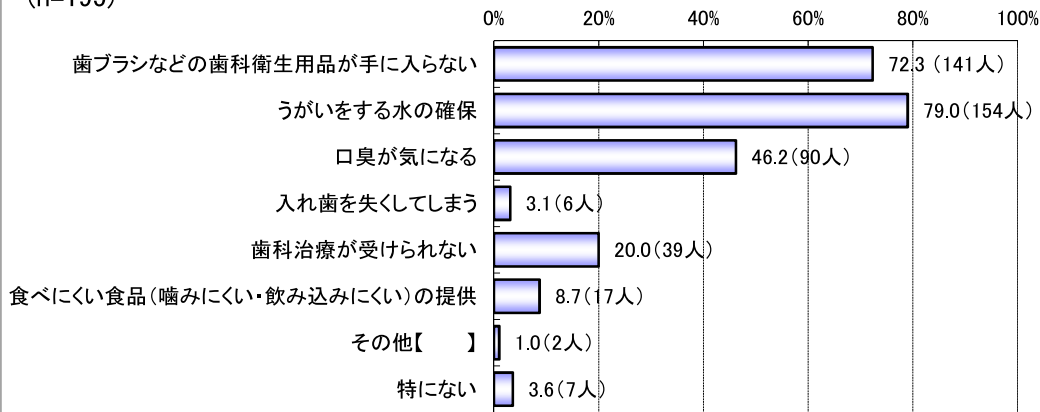
“行くのが面倒だから” 48.4%、“気になる症状がないから” 39.6%など、歯と口腔の疾患は自覚症状が乏しいため、歯科受診につながりにくい傾向があります。

“忙しくて時間がない”、“子供が小さいため”など主たるモニター回答者である30代、40代の働き盛り、子育て世代の受診率向上は大きな課題といえます。

成田市の68歯科医院中、19時以降診療している歯科医院が16医院、日曜診療を行っている歯科医院が15医院あります。市は、歯科医療費用の負担軽減のためにも一次予防（健康を増進し、発病を予防する）を推進し、定期的な歯科検診の重要性を伝えていきたいと考えます。

[Q5]もし大きな災害が起こった時、特に歯や口のことで困ると思われることは何ですか(3つまで選択)

(n=195)



もし大きな災害が起こった時、特に歯や口のことで困ると思われることは何ですか(3つまで選択)	N	%
歯ブラシなどの歯科衛生用品が手に入らない	141	72.3
うがいをする水の確保	154	79.0
口臭が気になる	90	46.2
入れ歯を失くしてしまう	6	3.1
歯科治療が受けられない	39	20.0
食べにくい食品(噛みにくい・飲み込みにくい)の提供	17	8.7
その他	2	1.0
特にない	7	3.6
全体	195	100.0

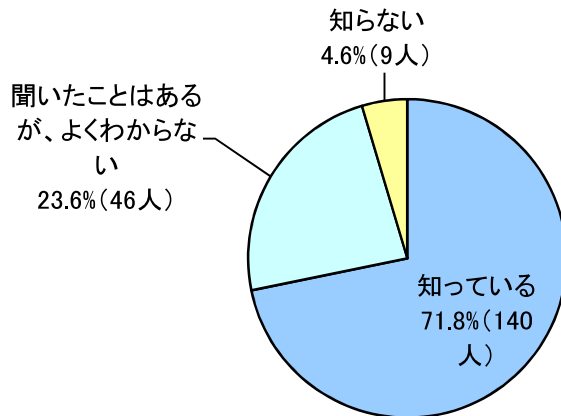
「その他」として寄せられた意見は次のとおりです (2件)

- ・食べ物が限られるため、噛む動作が減ってしまう
- ・子供用の歯ブラシや歯みがき粉が入手できるか

“うがいをする水の確保” 79.0%、“歯ブラシなどの歯科衛生用品が手に入らない” 72.3%と、衛生面での不安が多くあげられました。しかし、“食べにくい食品(噛みにくい・飲み込みにくい)の提供”、“入れ歯を失くしてしまう”等、機能面での問題点に対する認識は低いと感じられます。

[Q6]フッ素によるむし歯予防法があることを知っていますか。(単一選択)

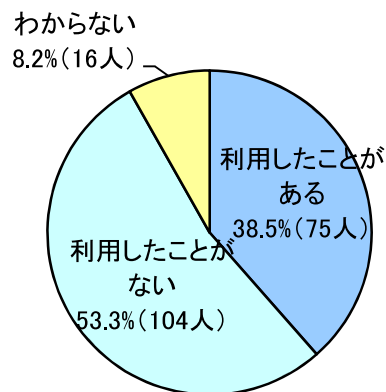
(n=195)



フッ素によるむし歯予防法があることを知っていますか。 (単一選択)	N	%
知っている	140	71.8
聞いたことはあるが、よくわからない	46	23.6
知らない	9	4.6
全体	195	100.0

[Q7]フッ素を利用したむし歯予防を利用したことがありますか(単一選択)

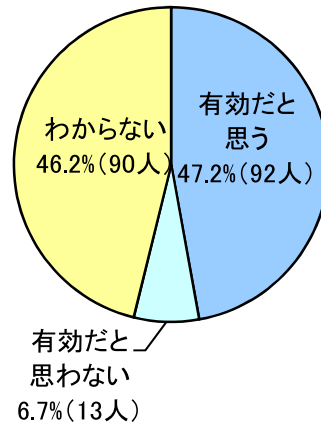
(n=195)



フッ素を利用したむし歯予防を利用したことがありますか (単一選択)	N	%
利用したことがある	75	38.5
利用したことがない	104	53.3
わからない	16	8.2
全体	195	100.0

[Q8]フッ素によるむし歯予防は有効だと思いますか(単一選択)

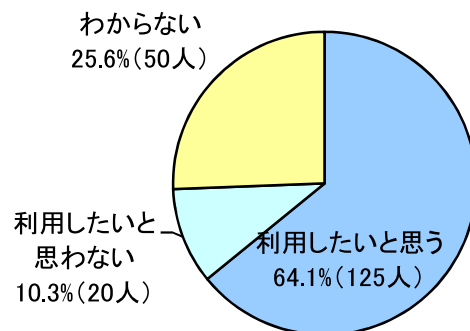
(n=195)



フッ素によるむし歯予防は有効だと思いますか (単一選択)	N	%
有効だと思う	92	47.2
有効だと思わない	13	6.7
わからない	90	46.2
全体	195	100.0

[Q9]フッ素によるむし歯予防を利用したいと思いますか(単一選択)

(n=195)

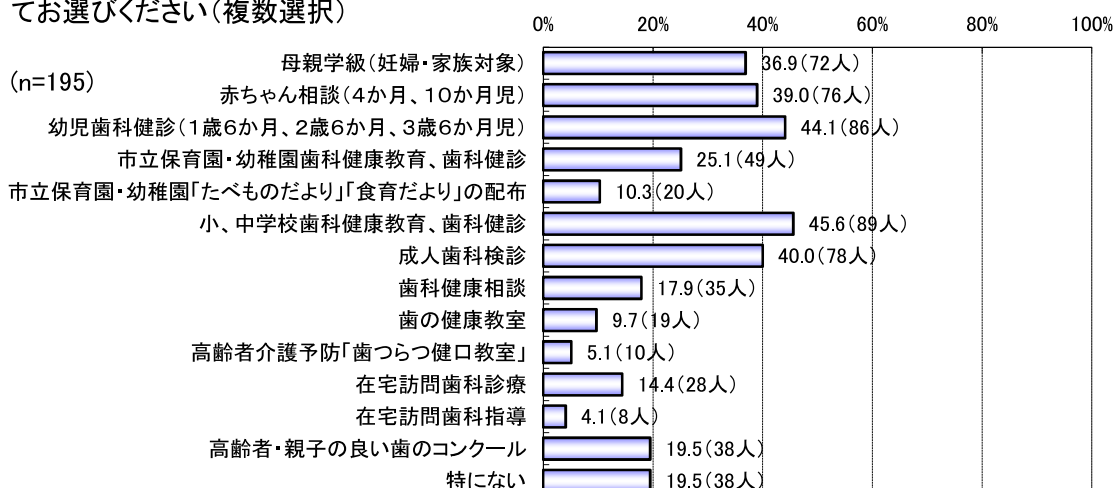


フッ素によるむし歯予防を利用したいと思いますか (単一選択)	N	%
利用したいと思う	125	64.1
利用したいと思わない	20	10.3
わからない	50	25.6
全体	195	100.0

フッ素によるむし歯予防の認知度は **71.8%**あり、フッ素の有効性を約半数の **47.2%**が認めています。利用したことのある割合は **38.5%**と、実際に予防として取り入れている状況は低いことがわかります。

また、有効性については“わからない” **46.2%**、利用希望の有無“わからない” **25.6%**と、フッ素についての情報が不足していることがわかります。

[Q10]歯と口腔の健康づくりに関する市の取り組みについて知っているものを、すべてお選びください(複数選択)

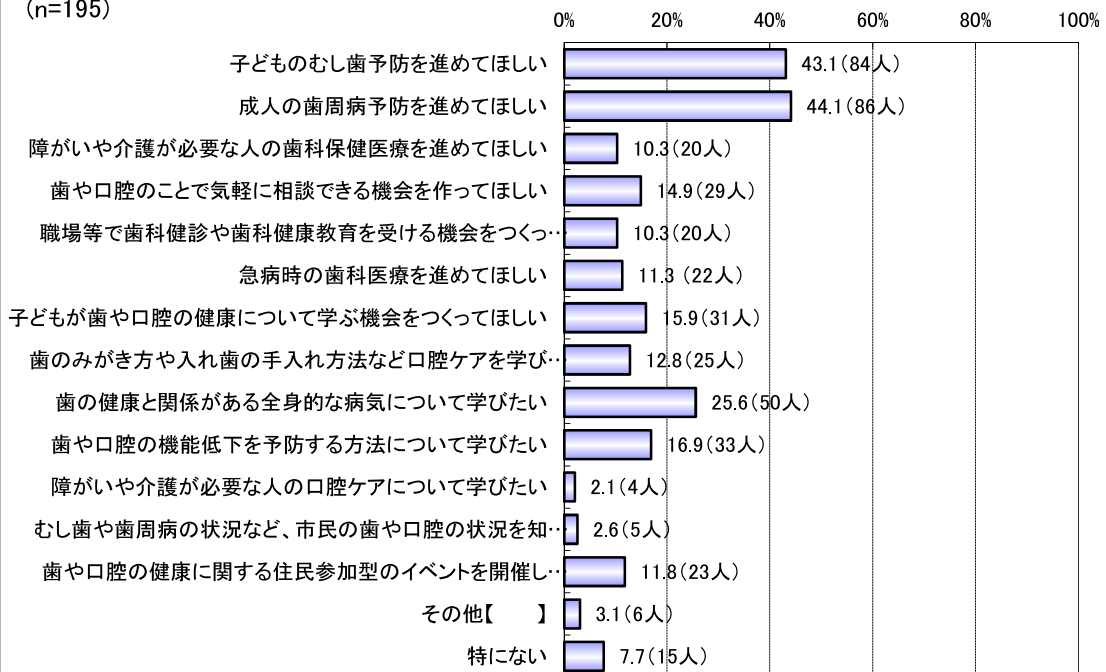


歯と口腔の健康づくりに関する市の取り組みについて 知っているものを、すべてお選びください(複数選択)	N	%
母親学級(妊婦・家族対象)	72	36.9
赤ちゃん相談(4か月、10か月児)	76	39.0
幼児歯科健診(1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月児)	86	44.1
市立保育園・幼稚園歯科健康教育、歯科健診	49	25.1
市立保育園・幼稚園「たべものだより」「食育だより」の配布	20	10.3
小、中学校歯科健康教育、歯科健診	89	45.6
成人歯科検診	78	40.0
歯科健康相談	35	17.9
歯の健康教室	19	9.7
高齢者介護予防「歯つらつ健口教室」	10	5.1
在宅訪問歯科診療	28	14.4
在宅訪問歯科指導	8	4.1
高齢者・親子の良い歯のコンクール	38	19.5
特になし	38	19.5
全体	195	100.0

個別通知を行う“幼児歯科健診”44.1%や、定期的に行われている“小、中学校歯科健康教育、歯科健診”45.6%は、比較的高い認知度でした。一方で実際に利用する対象でない等、生活と密接に関連していない“高齢者介護予防「歯つらつ健口教室」、在宅訪問歯科指導”は、知られていないことがわかります。また、“成人歯科検診”は40%が知っているものの、平成25年度の受診率は0.56%と低く、認知度と利用状況の差も検討していく必要があります。

[Q11]生涯にわたる歯や口腔の健康に関して、市で取り組んでほしいことをお選びください(3つまで選択)

(n=195)



生涯にわたる歯や口腔の健康に関して、市で取り組んでほしいことをお選びください(3つまで選択)	N	%
子どものむし歯予防を進めてほしい	84	43.1
成人の歯周病予防を進めてほしい	86	44.1
障がいや介護が必要な人の歯科保健医療を進めてほしい	20	10.3
歯や口腔のことで気軽に相談できる機会を作ってほしい	29	14.9
職場等で歯科健診や歯科健康教育を受ける機会をつくってほしい	20	10.3
急病時の歯科医療を進めてほしい	22	11.3
子どもが歯や口腔の健康について学ぶ機会をつくってほしい	31	15.9
歯のみがき方や入れ歯の手入れ方法など口腔ケアを学びたい	25	12.8
歯の健康と関係がある全身的な病気について学びたい	50	25.6
歯や口腔の機能低下を予防する方法について学びたい	33	16.9
障がいや介護が必要な人の口腔ケアについて学びたい	4	2.1
むし歯や歯周病の状況など、市民の歯や口腔の状況を知りたい	5	2.6
歯や口腔の健康に関する住民参加型のイベントを開催してほしい	23	11.8
その他【 】	6	3.1
特になし	15	7.7
全体	195	100.0

「その他」として寄せられた意見は次のとおりです（6件）

- ・成人歯科検診を20歳以上にしてほしい
- ・嚙下障害等専門医の周知、告知
- ・歯並びも健康、虫歯予防に重要と思われています。健康の観点から子どもだけでも、矯正に対して何らかの補助がほしい。
- ・個別に市の検診の案内を出して欲しい。
- ・フッ素の有毒性を調べて安易に市民に利用を促すことをやめて注意喚起して欲しい。
- ・歯医者に行くとき（他病院などでも）子供をみてくれる施設がありましたら嬉しいです。

“子どものむし歯予防を進めてほしい” 43.1%、“成人の歯周疾患予防を進めてほしい” 44.1%と、医療対策を望む意見が多いことがわかります。

また、“歯の健康と関係がある全身的な病気について学びたい” 25.6%、“歯や口腔の機能低下を予防する方法について学びたい” 16.9%、“子どもが歯や口腔の健康について学ぶ機会を作ってほしい” 15.9%など各世代を通じた啓発の機会が求められています。しかし、既存の事業も、Q10での結果のとおり十分認識がされていない状況です。事業の実施方法、周知方法を検討していく必要があります。

[Q12] その他、歯と口腔の健康に関するご意見・ご希望等をお書きください。(自由記述)

- ・健康診断に歯科検診もあつたらいいなと思います。
- ・歯がしみたり、歯周病の進行が気になるので予防策などの講座があればいいと思う。また、虫歯にならないための歯の磨き方講座などあればいいと思う。
- ・大人の虫歯は子どもにうつるので、市民全体で予防に努めたい。
- ・保険適用でも結構な値段が掛かるので、歯科は遠のいてしまう。
- ・成人歯科検診は習慣と知識が必要なため対象者を40歳以上から20歳または30歳以上にしたいです。習慣により知識も身に付くと思います。
- ・いい歯のコンクール虫歯が無いのは努力なので表彰されるべきだとおもいますが、歯並びは生まれつきな部分が多いのになんで表彰するんですか？不思議です。
- ・Q11の9～12について学びたいが、公開講座等となるとなかなか時間が取れないので、広報なりた等で学べるよう情報提供していただくと良いなと思います。
- ・これからますます高齢化が進む中歯の問題が重視されると考えられます。40歳後半から歯の違和感を感じ始め、50歳になると歯周病も注意が必要になります。私自身も歯磨き・歯間ブラシ・液体洗浄液などと日々努力しています。歯周病の菌が心臓に入り重症化するケースも多いと聞きます。歯の問題を軽んじてはいけません。80歳になっても自分自身の歯で美味しく食事が出来るように、改善していくためには、気軽に歯科医を受診できる。訪問医療の充実が、必要になると思います。
- ・個人別に本当にその人に効果のある歯磨き粉の種類や磨き方を指導していただきたい。
- ・治療よりも予防医療機関を増やしてほしい。またその医院を告知してほしい。
- ・市の定期検診以外にも、年に数回検診を受けられたらいいと思います。
- ・保健医療でできる歯科治療と保険適用不可の歯科治療の特質比較。インプラント治療は、歯が脳に直結しているような存在である為、実施すべきではないと考えております。専門家との公開討論の場を設けて頂きたい。
- ・歯医者に行くには、負担が大きい。市で少し負担制度を導入してほしいと思います。
- ・痛くならなければなるべく歯医者は避ける人が私以外のものいらっしゃると思います。簡単に受診できるようになれば、現状よりは歯医者に行く機会が増えると思いますので、よろしくご検討ください。
- ・歯科衛生週間の期間外にも、随時 「歯科衛生に関する注意喚起を促す」企画等があれば

よいかと思う。

・キシリトールガムについて、歯科での販売用と一般向けが異なると聞いていますが、市民参加型のイベントを催すことになったら、その話と歯科用のものの購入方法について案内して欲しい。

・食事の面で歯に良いものを教えてほしい。

・災害時の生活用品確保は、必要かもしれませんが、優先度によりますが。

・成田市民の健康に寄与する為。身近な市内開業医さんの様々な意見を、声を成田ケーブルテレビで放映して欲しい。病院には余り、行きたくない、予備知識不足の為

・歯の治療も進んでおり、以前はなかった新しい方法がいろいろあるようですが、それらについての正しい判断が出来づらいと感じます。市民が正しく勉強できる機会があると良いと思います。

・子供が、歯を磨くことを上手にできないので、学校などで教えてほしい。1年生のときに、親子で学んだが、子供はわすれているようです。

・節目の年齢の市民に、歯科検診を受ける案内をして欲しい。回覧板とは別の案内で。

・定期検診がとても大切と思うので、受信者が増えるといいと思う。また、手入れが面倒に感じてしまうので、知識・意識が強まるイベントがあるといいかも。

・市で実施している一般的な健康診断については関心があり、受診するが、歯科検診は関心が薄いのと、気軽に検診に出向く雰囲気が足りない様な気がする。出向きやすい環境作りが必要なのでは。

・80才、20本を基本ポリシーとして、市としても取り組んでほしい。

・フッ素による虫歯予防、どういう効果があるのかな？自分は、まず最初に歯石予防の方法を学びたい。歯石が問題だ。

・定期健診が一番

・歯と口腔の健康について、広報なりなどで取り上げていただきたいと思います。

・引っ越ししてきたばかりで、かかりつけ医をどこにしたらよいか悩んでいます。歯科医院について紹介して下さる機会があると嬉しいです。

・在宅の障害児への訪問歯科診療をもっと充実させて頂きたいです。また、在宅の障害児を抱えると長時間の外出も難しくなるので、親の訪問歯科診療も考慮して頂きたいです。

・普段何もなければ積極的に歯科医にはいかず、歯のメンテが出来ず、虫歯等になってか

ら治療を受ける場合が多いので、定期的な歯のメンテナンスの場を提供してほしい

・歯科医の報酬が高すぎるし、期間がかかるので、どうしても、何かないと歯科医の通院や検診は敬遠してしまう。開院時間なども、通院を阻害する一因でもあると思います。歯の健康はとても大事だが、環境が追いついていないと思う。歯科医は沢山あるが、沢山あっても通院できる場所は、限られてしまう。空港関係者は、成田市は、空港を取り巻く環境の中で、シフト勤務の人々も多い。その点を、考慮し、通院できる医療機関があったら、良いと思う。

・長年歯磨きの時に血がでてみんなと休憩中歯磨きが恥ずかしい。気持ち悪いという顔をされる。磨いていない訳ではないし、お金も無く困っている。あと何回行くのか、いくらかかるのか、毎回歯磨き方法の指導でお金を取られ、とくに治る訳でもない。本当に悩んでいます。

・昨年市の成人歯科検診を500円で受けられる、というので、最寄りの歯科医院に行っただが、この検診は簡単で、歯石もとってくれなかったような。単なる医師の視診なら、最初からきちんとした検診を受けたほうが良かったです。

・すでに半分以上の歯が自分の歯ではなくなり、入れ歯が壊れたのを機に、インプラントにしようかするまいか迷っている。どこの歯医者が一番いいのか、信頼できる歯医者はどこかが分からず、歯医者選びは一か八かの賭けみたいな気がして今も迷っている。公平な立場の機関による「歯医者のインプラント実績表」みたいなものがあつたらいいのにと思ってしまう。

・成田市内のいくつかの歯科医院に通っていますが、双方かなり予約が取りづらいことから、成田市民の歯に対する意識レベルは高いものと思っております。が、しかし・・・予約取りたいときに取れないのはキビしいです。

・歯科患者にとって、よい歯医者が少ない。よい歯医者とは患者にとって親身になって相談してくれる先生。

・最近自分の歯の健康が気になりますが、歯医者に小さい子を連れて行くのがしにくいため行きづらいです。何か無料に対応していただけると、嬉しいのですが。

・虫歯は子供の病気ということで、大人になってからは特に何もなければ歯科にかかる機会はないと思う。もっと定期的な検診があればよいなと思います。(自分は怖いのでなにもなくても年1で通っていますが。)

・歯に関して考える機会が少ないので、先ずはその機会が必要だと感じた。

治療が必要と感じないと歯科には、通わないので、先ずは関心をもたせることが必要。

・なぜ、歯医者にかかると治療に長くかかるのでしょうか？それが理由で敬遠している人

(わたくしも) も多いと思います。

・私は受診している歯科医から、半年毎に定期検診の連絡を受けています。歯に不都合がない限り、歯科を受診しようとは思わず忘れていています。何処の医師も受診した人に連絡を取っているのか、私が受診している医師だけなのか分かりませんが、日ごろ気にしない私には、自分の歯について情報を得ることが出来て重宝しています。もし、全てにこうした方法が採られていなければ、この方法を取り入れると、歯の健康を喚起するには、良い方法と考えますが？

・自分の歯にあった歯科医院の紹介をしてくれる場がほしい

・歯はとても大事だけど、どうしてもかかりつけにしたいと思える歯科が見つからないのが悩みです。市で成人検診と一緒に診ていただけるようになることを希望しています。

・最近では虫歯よりも歯周病の方が心配です。具体的にどういったことを気をつけていれば歯周病が進まないかハッキリとはわかっていないので、勉強する機会があれば参加してみたい。

・昔から歯が弱く当時は麻酔がなく神経を殺す薬で神経を殺してから治療を受けるような時代だったので歯医者へ行くのがとても怖くてがまんをしてしまった。子供たちにはそんな思いをさせたくない。

・口内をアルカリ性にする事が虫歯を防ぐ事になり食後の重曹水うがいの有効性に注目が集まっているとの事。保育園への導入を期待します。フッ素は有毒性が高いので使用を控えてほしい

・一生涯 自分の歯で生活できるように、日々の手入れを怠らないように したいと思っています。

・大人の歯科検診も実施してほしい。

・生涯自分の歯で物を食べる事が出来るのが理想だと思いますが日々の忙しさで検診もなかなか行かれないのが現実です。意識を高めるという意味では市からの広報紙等の呼びかけは良い事だと思います。

・もともと歯並びがいいのに親知らずの歯が出て来て少し歯並びが悪くなって来た時どうすればいいのか知りたい

・大半の歯科医にて、ドリルの柄の部分の交換、もしくはドリル自体の交換を、患者ごとに行っていないという記事を、新聞にて拝見しました。一般的な感覚として、衛生上問題があると感じます。可能であれば、歯科医向けに適切な行政指導をお願いします。または、市にて優良衛生歯科医の認定、公開など、市民が優良な歯科医を選択できる方法の導入をよろしく願いいたします。

・どうしても入れ歯を入れなければならなくなった時、第3者機関の様な相談窓口が欲しかった。インプラントにするのか良いのか、健康な歯まで削って入れ歯を作るのが良いのかよくわからないまま始まって、何で健康な歯まで削るんだと文句を言った事があったから。

・子供の歯科検診は定期的に行っていますが、親はついついおざなりにしてしまっています。もっと気楽に受けられるようになると嬉しいです。

・私事で申し訳ないです。妊娠中に虫歯が悪化したのですが、麻酔等の関係で治療は出来ませんでした。出産後、主人に仕事を休んでもらって通ったり、出産間もない妹に預けたりしておりました。歯の手入れを怠っていた自分が悪いのは重々承知ですが、病院など行くときに子供をみてるような施設は出来ませんか。悪い使われ方しないように病院の領収書の提出を義務化して。差し出がましい意見ですみません。

・歯科に限らずですが、託児付きの医療機関があると助かります

・保険適用外美容等に対する補助を検討してもらいたい。(歯を白くする、詰めものする際、金属ではなく、エナメル質に近い素材を使用すること。)

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。

医療対策や知識啓発の機会を望む意見が多かった一方、“歯と口腔の健康と全身の健康の関係”についての認識不足、“定期検診”等の未受診、市の既存の事業の認知度の低さなどが結果からみられました。

市では、市民の皆さんが生涯にわたり生き生きと安心して過ごせるように、平成26年4月1日に「成田市歯と口腔の健康づくり推進条例」を施行しました。

歯科保健事業について実施方法や周知方法を検討し、市民の皆さんと共に歯と口腔の健康づくりに取り組んでいきたいと思っております。